

会計名 一般会計			レオ・レオニ展開催事業				担当部	生涯学習部			
款	項	目					担当課	美術館			
10	5	8					担当係	美術館			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	文化・芸術								
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり								
	目的	レオ・レオニの作品世界を紹介することで絵本やイラストレーションへの親しみと理解を一層深めるとともに、新たな視点や価値観を見出す機会とする。子どもたちを始め、幅広い世代に夢や知識を与え、市民の文化芸術の高揚を図る。	主たる内容	○会 期 平成26年4月26日～6月8日 38日間 ○会 場 全館 ○入場料 一般900円（700円） 学生700円（500円） （ ）内は前売・20名以上の団体 ○展示内容 小学校の教科書にも掲載された『スイミー』で知られるレオ・レオニ（オランダ生まれ、1910～99）の絵本原画を中心に油彩や彫刻などを紹介。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
		根拠法令	博物館法								
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成26年度 ～ 平成26年度						
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画			
		—		—		・入館者数 25,552人 ・第17回絵本学会大会 253人 ・えほんのじかん 6回 ・ワークショップ 1回 ・ギャラリートーク 4回		—			
成果		絵本原画の展示のみならず、『スイミー』を題材とした映像で遊ぶことができるコーナーの設置、絵本の読み聞かせやワークショップ等を通じて、大人も子どもも満足できる展示空間を実現できた。子どもを連れた家族での来館が多数を占めていたが、学生や高齢も多く、年代を問わず楽しんでいただくことができた。また、お孫さん連れの高齢の方も多く、展覧会を通して世代間交流の機会も提供できた。									
課題		会期の終盤は特に多くの来館者があり、駐車場やトイレ、売店が大混雑して来館者を待たせることがあった。また、乳児を連れた来館者も多く、授乳室や乳児とともに使用できるトイレの不足など、設備の面での課題が浮き彫りになった。									
指標名称（単位）			実績値			目標値					
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度				
成果指標		入館者数（人）		—	—	25,552	—	—			
成果指標		入館者アンケートの満足度（%）		—	—	87.7	—	—			
他市との比較検証		展覧会の主な巡回地の会期（日数）及び入館者数…美術館「えき」KYOTO（京都）21日33,645人、Bunkamuraザ・ミュージアム（東京）44日124,803人、北九州市立美術館分館（福岡）55日30,394人									
C 事業コスト		単位：千円	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳				
	事業費 ①	0	0	46,241	0	合計	46,240,671 円				
	財源	特定財源	0	0	43,834	0	賃金	2,467,580 円			
		一般財源	0	0	2,407	0	報償費	333,385 円			
							旅費	63,820 円			
	職員人件費 ②	0	0	6,688	0	需用費	26,106,560 円				
	総事業費（①+②）	0	0	52,929	0	役務費	2,146,099 円				
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		26年度特定財源名称				委託料 6,866,727 円			
	26年度までの累積事業費	0		入場料、冊子等頒布収入、印刷物売払収入、講座受講料、絵本学会大会補助金				使用料及び賃借料 264,500 円			
	28年度以降の事業費見込	0						負担金、補助及び交付金 7,992,000 円			

会計名			レオ・レオニ展開催事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。また、「日頃から文化や芸術に親しんでいる市民の割合」が45.4%とほぼ半数あり、市民ニーズも決して低くない。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	第17回絵本学会大会を会期中、総合文化センターで開催し、学会参加者も来館者として呼び込むことできた。また、総合文化センター及び文化工房かりやと連携することで効率的な運営が実現できた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要になることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	刈谷市文化振興基本計画における「絵本がいっぱいのまちづくり」に関する施策を第17回絵本学会大会の開催を通じて、全国的に発信できた。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	絵本原画展に関する展覧会開催は、本展同様に幹事館として企画構成、図録編集に携わることで、学芸面でのノウハウを蓄積し、当館の企画構成力を広くアピールしていく。 文化振興基本計画に基づき、市内文化施設等との相互協力を強めるとともに、近隣の大学等との連携も深めていく。				

会計名 一般会計			藤井千秋展開催事業				担当部	生涯学習部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	5	8					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	古きよき抒情の世界を現代に蘇らせることで、心の豊かさ、美しいものを愛する心を育む機会とし、市民の文化芸術の高揚を図る。	主たる内容	○会 期 平成26年9月20日～11月9日 43日間 ○会 場 全館 ○入場料 一般900円（700円） 学生700円（500円） （ ）内は前売・20名以上の団体 ○展示内容 大正から昭和期に花開いた抒情画で、最後の正統派画家と呼ばれる藤井千秋（岐阜県生まれ、1923～85）の全貌を紹介する初の回顧展。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令		博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成26年度 ～ 平成26年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		_____		_____		・入館者数 9,390人 ・スペシャルギャラリー・トーク 1回 ・ギャラリー・トーク 4回 ・ロビーコンサート 1回 ・ワークショップ 5回		_____	
成果		昨年の井上洋介展に続いて、図録の代行となる一般書籍を開催にあわせて出版でき、美術館のみならず書店等でも販売することにより、販路の拡大とともに、書籍の帯を利用した展覧会の広報ができた。 愛知学泉大学の協力のもと、藤井千秋が描いたにんぎょ姫などの衣装を再現するなど、立体的にも楽しめ、幅広い来館者へアピールする展示が行えた。							
課題		知名度の高い作家のように多くの人に告知が浸透できず、今後より効果的なPR方法を検討していく必要がある。							
他市との比較検証		他館の自主企画展の本数…高浜市やきもの里かわら美術館2本、碧南市藤井達吉現代美術館2本、豊橋市美術博物館2本。（いずれも公募展及び収蔵品のみによる展示を除く）							
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	26年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	14,360	0	合計	14,359,638 円	
	財源	特定財源	0	0	7,048	0	賃金	2,033,385 円	
		一般財源	0	0	7,312	0	報償費	545,482 円	
	職員人件費 ②		0	0	5,280	0	旅費	285,760 円	
	総事業費 (①+②)		0	0	19,640	0	需用費	4,697,941 円	
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		26年度特定財源名称		役務費	1,689,000 円
26年度までの累積事業費		0		入場料、印刷物売払収入		委託料	5,108,070 円		
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			藤井千秋展開催事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。また、「日頃から文化や芸術に親しんでいる市民の割合」が45.4%とほぼ半数あり、市民ニーズも決して低くない。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	図録を印刷製本費の計上により製作するのではなく、一般書籍として出版することで、売れた分だけ消耗品費で購入すればよくなり、売残りリスクを回避することができた。また、ロビーコンサートを総合文化センターのアウトリーチ事業として実施し、効率的な運営ができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要になることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	当時を懐かしむ世代の来館者のみならず、若い来館者も多く、「鑑賞と体験の機会づくり」施策に貢献している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
昨年の中原淳一展に続いて開催することで、抒情画家を取り上げた展覧会のラインナップを多くの方に認識していただくことができた。また、愛知学泉大学の協力を得て製作した再現衣装も来館者から大変好評をいただき、原画だけではなく華やかな展示空間を実現できた。 総合文化センターとの連携事業が来館者から好評を得たので、文化振興基本計画に基づき、市内文化施設及び近隣の大学等との相互協力及び連携を強めていく。					

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	来館者に美術館及び佐喜知庵を快適に利用していただくため、施設の適正な維持管理を図る。	主たる内容	○光熱水費 ○施設修繕料 ○電話料 ○建物清掃料 ○設備等保守管理料等 ○美術館・佐喜知庵の施設管理に関する経費						
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令		博物館法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	昭和58年度～					
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 280日		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 267日		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 274日		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 280日		
成果		施設、設備等が適切に維持管理ができ、来館者に快適な鑑賞環境の提供ができた。								
課題		美術館は建設後30年を経過した建物であるため設備が旧式であり、省エネルギーの観点で改善の余地がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
成果指標		ギャラリーの展示室稼働率（％）			100	100	98	100	100	
指標										
他市との比較検証		ギャラリーの展示室稼働率（％）…稲沢市荻須記念美術館96.0、豊田市美術館100、碧南市藤井達吉現代美術館4.2								
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		31,824	35,466	37,057	40,464	合計	37,057,402 円		
	財源	特定財源	2,224	2,642	2,297	2,352	需用費	19,708,504 円		
		一般財源	29,600	32,824	34,760	38,112	役務費	656,590 円		
	職員人件費 ②		6,791	5,961	5,984	6,363	委託料	14,972,392 円		
	総事業費（①+②）		38,615	41,427	43,041	46,827	使用料及び賃借料	1,719,916 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0		美術館使用料、電話料実費徴収金						
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			収藏品等保存管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行い、美術館収藏品や借り受けた美術品の適正な保存管理を図る。		主たる内容	○美術品動産保険 ○収蔵庫の燻蒸 ○収蔵作品の修復 ○収蔵庫の保存環境測定				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	—		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		収蔵作品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・2階収蔵庫燻蒸 ・収蔵作品包込み燻蒸 ・収蔵作品の修復、額装 ・新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・1階収蔵庫燻蒸 ・収蔵作品包込み燻蒸 ・収蔵作品の修復、額装 ・新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・2階収蔵庫燻蒸 ・収蔵作品の修復、額装 ・新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・1階収蔵庫燻蒸 ・収蔵作品の修復、額装 ・新収蔵作品の撮影	
成果		収蔵作品の適切な保存、管理、補修が図られている。							
課題		新たに収集した作品は状態のよいものばかりではないため、修復は新収蔵品を優先して行なっており、以前からの収藏品は予算の範囲内で順次行なっている。そのため修復を必要とする作品が残っている状況である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		修復、保存措置等をした作品数（点） （写真撮影、額装等）			11	410	410	410	400
成果指標		修復、保存措置等をした作品のうち展示に活用した作品数（点） （写真撮影、額装等）			11	90	30	30	60
他市との比較検証		収藏品点数（点）…稲沢市荻須記念美術館197、豊田市美術館3,292、碧南市藤井達吉現代美術館1,349、高浜市やきもの里かわら美術館2,462 修復、保存措置等をした作品数（点）…稲沢市荻須記念美術館0、豊田市美術館45、碧南市藤井達吉現代美術館105、高浜市やきもの里かわら美術館0							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,392	2,402	3,336	3,464	合計	3,335,835 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	100,350 円	
		一般財源	2,392	2,402	3,336	3,464	委託料	2,846,685 円	
	職員人件費 ②		707	1,753	1,760	1,871	使用料及び賃借料	388,800 円	
	総事業費（①+②）		3,099	4,155	5,096	5,335			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設整備事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	美術館の施設を整備し、来館者に快適な環境提供を図る。	主たる内容	○美術館設備の補修に関する費用 ○第2展示室ピクチャーレール修繕 ○1階2階トイレ壁紙等張替修繕 ○研修室及び控え室カーテン・ブラインド取替修繕 ○【FM】屋上防水改修工事 ○【FM】外壁改修工事						
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画			事業期間	～		
		根拠法令		博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他				
	BDO 事業実績 計画	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		美術館の整備・・・屋外配水管等修繕		美術館の整備・・・第2展示室可動壁修繕、第2展示室ピクチャーレール修繕、高圧受電設備修繕他		美術館の整備・・・第1展示室ピクチャーレール修繕、監視カメラ設備ハードディスク交換修繕、美術館外壁調査設計委託、2階トイレ洋式化工事		美術館の整備・・・第2展示室ピクチャーレール修繕、1階2階トイレ壁紙等取替修繕、研修室及び控え室カーテン・ブラインド取替修繕、【FM】屋上防水改修工事、【FM】外壁改修工事		
		成果	美術館の設備補修は、予定されていたすべての修繕を実施した。							
課題		美術館自体の老朽化が進んでいるため、緊急に修繕を必要とする場合がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
成果指標		年間入館者数（人）		92,289	95,784	105,000	105,000	96,000		
指標										
他市との比較検証		平成26年度施設修繕額・・・碧南市藤井達吉現代美術館1,167千円、高浜市やきもの里かわら美術館1,543千円、豊田市美術館21,456千円、名古屋市美術館6,274千円、稲沢市荻須記念美術館754千円								
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,932	5,947	3,154	61,737	合計	3,153,600 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,339,200 円		
		一般財源	1,932	5,947	3,154	61,737	委託料	626,400 円		
	職員人件費 ②		1,415	3,156	3,168	3,369	工事請負費	1,188,000 円		
	総事業費（①+②）		3,347	9,103	6,322	65,106				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0								
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			業務管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○刈谷市美術館美術品審査委員会への収集予定作品の諮問。		
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	作品選定、審査等の適正な業務管理を行うことにより、刈谷市美術館が収集するにふさわしい美術品を収集する。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱						
	対象者	美術品審査委員会委員、市職員		事業期間	平成4年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人	
成果		刈谷市美術品審査委員会の審議を経て、美術品収集方針に沿った美術作品の収集を行うことができた。							
課題		審査委員が高齢化していることもあり、後任の委員の候補者を検討する必要がある。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度
	活動指標	審査委員会開催回数（回）			1	1	1	1	1
	活動指標	審査作品数（件）			6	27	5	5	5
他市との比較検証	審査委員会開催回数（回）…稲沢市荻須記念美術館1、豊田市美術館1、碧南市藤井達吉現代美術館1、高浜市やきものの里かわら美術館3（考古・工芸、美術、普及部会各1回）、名古屋市美術館1 審査作品数（件）…稲沢市荻須記念美術館1、豊田市美術館23、碧南市藤井達吉現代美術館149、高浜市やきものの里かわら美術館8、名古屋市美術館197								
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		368	331	597	933	合計	597,100 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	52,500 円	
		一般財源	368	331	597	933	旅費	111,420 円	
	職員人件費 ②		495	1,403	1,408	1,871	委託料	433,180 円	
	総事業費（①+②）		863	1,734	2,005	2,804			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			一般企画展等実施事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	8							
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	常設展示を行うことにより、地域の人々に刈谷市美術館収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深めてもらう。 呈茶事業を行い、気軽に抹茶をいただく機会を提供し、茶道に親しんでもらう。				主たる内容	○特別展示室において、年4回、収蔵作品による常設展を実施 ○茶室佐喜知庵において、貸切のない日の午後1時から3時30分の間に個人呈茶を実施		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を設定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		第1期常設展「New Collection」32日 第2期常設展「モノクロームの世界」31日 第3期常設展「宇野亜喜良ポストター展」40日 第4期常設展「水の表情」35日 個人呈茶日数 220日		第1期常設展「ふしぎなせかい」32日 第2期常設展「わたしのベストコレクション」26日 第3期常設展「宇野亜喜良展本にみる少女譚」37日 個人呈茶日数 211日		第1期常設展「New Collection」26日 第2期常設展「没後10年 杉本健吉・寛忠治展」25日 第3期常設展「旅の記憶、異国の情景」40日 第4期常設展「いきものたちの絵本劇場」41日 個人呈茶日数 225日		第1期常設展「New Collection」26日 第2期常設展「没後30年 宮脇晴と同世代の画家たち」25日 第3期常設展「市政65周年記念河目悌二展」40日 第4期常設展「ゾクッ!?奇怪な絵の誘惑」40日 個人呈茶日数 200日	
成果		個人呈茶の時間延長などにより事業が充実し、市民の文化振興が図られている。							
課題		佐喜知庵は、個人呈茶または貸切利用で毎日使用されるため、施設・設備・茶道具の日常的な消耗、劣化があるが、十分な修繕や買替えができなかった。							
指標名称（単位）						実績値		目標値	
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度
成果指標	特別企画展開催時を除く入館者数（人）				50,154	48,298	54,590	50,000	50,000
成果指標	個人呈茶人数（人）				3,658	4,622	3,972	3,800	3,800
他市との比較検証	常設展開催日数（日）…稲沢市荻須記念美術館298、豊田市美術館126、碧南市藤井達吉現代美術館296、高浜市やきもの里かわら美術館310、名古屋市美術館251 常設展入館者数（人）…稲沢市荻須記念美術館11,352、豊田市美術館3,862、碧南市藤井達吉現代美術館15,296、高浜市やきもの里かわら美術館18,600、名古屋市美術館86,558								
C 事業 コスト V	単位：千円	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費 ①	3,263	3,248	3,868	4,176	合計	3,867,604 円		
	財源	特定財源	1,478	1,526	1,334	1,816	旅費	33,480 円	
		一般財源	1,785	1,722	2,534	2,360	需用費	1,455,265 円	
	職員人件費 ②	2,476	2,805	2,816	2,994	役務費	481,277 円		
	総事業費（①+②）	5,739	6,053	6,684	7,170	委託料	1,897,582 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		26年度特定財源名称					
	26年度までの累積事業費	0		冊子等頒布収入、呈茶料収入					
	28年度以降の事業費見込	0							

会計名			次期企画展開催準備事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	平成27年度以降に開催を予定している企画展について、調査研究、図録作成や広報等の準備作業を行い、展覧会の充実を図る。			主たる内容	○調査研究 ○展示美術品の借用交渉等に関する費用 ○次年度当初に開催の企画展用ポスター等の印刷費及び発送費			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		次期企画展開催準備		次期企画展開催準備		次期企画展開催準備		次期企画展開催準備	
成果		展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要であり、開催年度前から準備作業を行うことで、展覧会の充実が図られている。							
課題		次年度当初の春季企画展のPR方法を検討する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
成果指標		次年度春季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）			89	86	89	90	90
成果指標		次年度秋季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）			85	91	89	90	90
他市との比較検証		愛知県美術館…準備事業予算に旅費を計上。ポスター印刷は実行委員会予算。 豊田市美術館、豊橋市美術博物館…準備事業予算に旅費、春の企画展のポスター印刷等を計上。 稲沢市荻須記念美術館…準備事業予算に旅費を計上。企画展は秋にしかないのでポスターの印刷等は開催年度の予算に計上。							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		2,203	3,083	3,556	3,314	合計	3,556,203円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	55,000円	
		一般財源	2,203	3,083	3,556	3,314	旅費	1,144,420円	
	職員人件費②		4,103	4,559	4,576	5,614	需用費	1,280,376円	
	総事業費（①+②）		6,306	7,642	8,132	8,928	役務費	315,655円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術館をとりまく環境の変化に対応し、より開かれた美術館への要求に応えるため、美術及び美術館の教育普及活動を行い、次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図る。		主たる内容	○企画展関連のワークショップの開催 ○夏休み・春休みの子ども向けワークショップの開催				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
	対象者	プログラムにより個別に対象年齢を設定		事業期間	～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		ワークショップ 12種類13回を開催 参加者数 431人		ワークショップ 13種類14回を開催 参加者数 319人		ワークショップ 18種類26回を開催 参加者数 502人+春		ワークショップ 10種類14回を開催予定 予定参加者数 450人	
成果		他機関ではできない美術館ならではの創造プログラムを提供していることから、年々市民に広まり、特に園児・小学生向けプログラムは毎回抽選になるほどの応募が集まっている。							
課題		多様なプログラムを提供できるように、幅広いジャンルの講師の確保が課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		開催回数（回）			13	14	13	14	15
成果指標		参加人数（人）			431	319	502	450	500
他市との比較検証		近隣市でほとんどの美術館が美術普及ワークショップを実施している 実施方法は館によって異なる。高浜市やきもの里かわら美術館では、館内の陶芸創作室で休館日を除く毎日、陶芸創作体験を行なっている。碧南市藤井達吉現代美術館では、ワークショップは「子ども友の会」の会員制であり、対象は小学生のみである。							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		783	917	750	875	合計	750,042 円	
	財源	特定財源	0	41	18	40	賃金	164,910 円	
		一般財源	783	876	732	835	報償費	517,680 円	
	職員人件費 ②		2,264	2,455	2,464	2,620	需用費	49,812 円	
	総事業費（①+②）		3,047	3,372	3,214	3,495	役務費	17,640 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		講座受講料					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			美術館で夏休み展開催事業				担当部	生涯学習部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	5	8					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	夏休み期間にあわせて、子どもたちが美術への親しみと理解を一層深め、新しい価値観を発見する機会として、参加型のイベントを重視した「美術館で夏休み展」を開催し、市民の文化芸術の高揚を図る。	主たる内容	○会 期 平成26年7月19日～8月31日 38日間			○会 場 第1展示室・特別展示室・1階ロビー — ○入場料 無料 ○展示内容 ワークショップをベースとして作品を制作する3名の若手作家を取り上、他者との関わりの中から生まれる作品を紹介する。		
	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令	博物館法							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成26年度 ～ 平成26年度				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		—		—		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ 13回 ・作家によるギャラリートーク 1回 ・ギャラリートーク 6回 		—	
成果		事前に行った小学生とのワークショップをもとに、子どもたちとの共同制作で作られた作品は来館者に親しみやすいだけでなく、自己を見つめ直すような発見のある作品に仕上がった。会期中には出品作家などによるワークショップを多数開催し、幅広い年代の来館者が楽しめ、満足度の高い展示となった。							
課題		子ども連れの来館者が多く、現代美術に興味のある若い来館者も見られたが、多くの人には告知が浸透せず、今後より効果的なPR方法を検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
成果指標	入館者数（人）		—	—	9,560	—	—		
成果指標	入館者アンケートの満足度（%）		—	—	71.4	—	—		
他市との比較検証	あいちアートプログラム…「豊穡なるもの—in豊川」平成27年1月17日～2月22日豊川市桜ヶ丘ミュージアム／豊川信用金庫旧いなり支店、古民家 3会場参加作家30組32名 入場無料 トーク3回 ワークショップ1回								
C 事業 コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	5,743	0	合計	5,743,056 円	
	財源	特定財源	0	0	6	0	賃金	607,160 円	
		一般財源	0	0	5,737	0	報償費	596,280 円	
	職員人件費 ②		0	0	3,872	0	旅費	40,110 円	
	総事業費（①+②）		0	0	9,615	0	需用費	1,233,499 円	
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
	26年度までの累積事業費		0		印刷物売払収入				
	28年度以降の事業費見込		0						

会計名			美術品等購入基金積立事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	刈谷市美術品等購入基金の運用収入金を基金へ積立する。		主たる内容	○美術品等購入基金の利子を積立とする。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例					
		対象者	対象者を設定せず		事業期間	平成1年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		運用金収入を基金に積立 623,000円		運用金収入を基金に積立 631,800円		運用金収入を基金に積立 323,400円		運用金収入を基金に積立 1,519,000円	
成果		美術品等購入基金の利子を積み立てることで基金の増額を図った。							
課題		経済状況の悪化に伴う預金利率の低下により収益効果が悪化した。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
成果指標		運用収入金（千円）			623	632	324	1,519	—
成果指標		定期預金の利率（%）			0.13	0.135	0.07	0.27	—
他市との比較検証		豊田市美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、高浜市やきもの里かわら美術館…購入基金該当なし 平成25年度末現在の基金額（円）…稲沢市荻須記念美術館61,007,756、名古屋市美術館500,000,000（取得のみの基金、運用していない、他施設分も含む） 運用収入金（円）…稲沢市荻須記念美術館46,536、							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		622	632	323	1,519	合計	323,400円	
	財源	特定財源	622	632	323	1,519	積立金	323,400円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		35	351	352	374			
	総事業費（①+②）		657	983	675	1,893			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		美術品等購入基金積立金利子					
28年度以降の事業費見込		0							